

永遠に語り継ぎたい新たな浦島太郎の物語

「玉手箱は現実と向き合う為の道具として母から渡された」

日本舞踊家、和楽器奏者、落語家など若き伝統芸能継承者が
「史都・多賀城」に一堂に集結

日本人に馴染みの深い浦島太郎の伝説を東日本大震災を風化させず後世に伝える
目的で再構築した新作和楽劇。

出演者が力を合わせ新たに創作した奥羽綿津見盆踊をフィナーレで披露する。

黒白 の 浦島

多賀・永遠の祈り



中川 雅寛

Masahiro Nakagawa

日本舞踊

宮城県仙台市出身。

日本舞踊家／中川流家元。歌舞伎俳優であり人間国宝の坂東玉三郎丈の私塾に最年少で合格し8歳で上京。

日本舞踊を中心に舞台全般を学ぶ。日本舞踊を坂東玉三郎丈・藤間勘め師に師事する。東日本大震災後に故郷を想い帰郷し様々なテレビ・舞台に出演。



吉井 盛悟

Shogo Yoshii

篠笛・胡弓

和太鼓

佐渡に渡り10年間「鼓童」に参加。

シディ・ラルビ・シェルカウイ、ダミアン・ジャレ振付の「Babel -words」に参加。

同作品は英国オリビエ賞始め、数々の賞に輝き坂本龍一氏の提案により札幌芸術祭にて日本初演。

「和楽奏伝」を主宰し日本音楽の可能性拓く。

シディラルビの作品「FractusV」にて世界公演中。



浅野 祥

Sho Asano

津軽三味線

宮城県仙台市出身。

三絃小田島流 二代目小田島徳旺氏に師事。

7歳で津軽三味線全国大会に最年少出場し、翌年から各級の最年少優勝記録を次々と塗り替える。2004年 津軽三味線全国大会 最高峰のA級で最年少優勝。

(当時14歳) 2006年まで連続優勝し3連覇を達成。

同大会の規定により、殿堂入り。



春風亭 昇羊

Shoyo Shunputei

落語

1991年 神奈川県出身。

2012年4月春風亭昇太に入門。

2016年5月 ニツ目昇進。

古典落語だけでなく、新作落語にも取り組みながら自身の活動の場を広げる注目の若手落語家。



制作…中川流 雅会
演出・構成・振付…中川雅寛
音楽監督・作曲…吉井盛悟
舞台監督…菅原みちや
大道具…FACTORY-X (株)
照明…志賀舞台照明研究所
音響…サウンドデザイン

Atoa. / 和太鼓・鳴物



東日本大震災を受け、太鼓の原点を重んじながら地元仙台にて活動を続ける。【人から人へ】=【A to A】を掲げ「Atoa.」(アトア)を結成。演出家 野田秀樹のもと、宮沢りえ・東京スカパラダイスオーケストラらとも共演。結成9年目を迎え、更なる活躍を期待されている。

佐取純子 / 現代舞踊



宮城県仙台市出身。

(一社)現代舞踊協会会員

宮城県洋舞団体連合会理事長

宮城県芸術選新人賞／宮城県芸術選奨／

宮城県教育文化功労賞を受賞／

主宰する佐取純子モダンバレエスタジオは46周年を迎える。

高橋竹仙 / 古代笛



宮城県多賀城市の市川橋遺跡から全国で初めて完全な形で出土した平安時代初期の横笛(多賀城市文化財に指定)を古代笛と称し演奏活動中。現在はNHK仙台放送局より道北六県に毎週金曜日に放送のFMラジオ『民謡をどうぞ』は昭和29年から61年間継続する唯一の長寿番組のレギュラー伴奏者として現在も活躍中。